



COMBI PANEL

コンビパネル

JIS認定断熱材 A9511



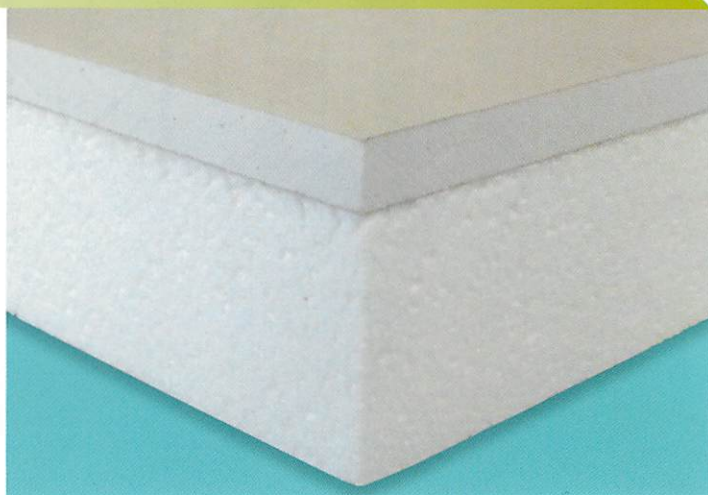
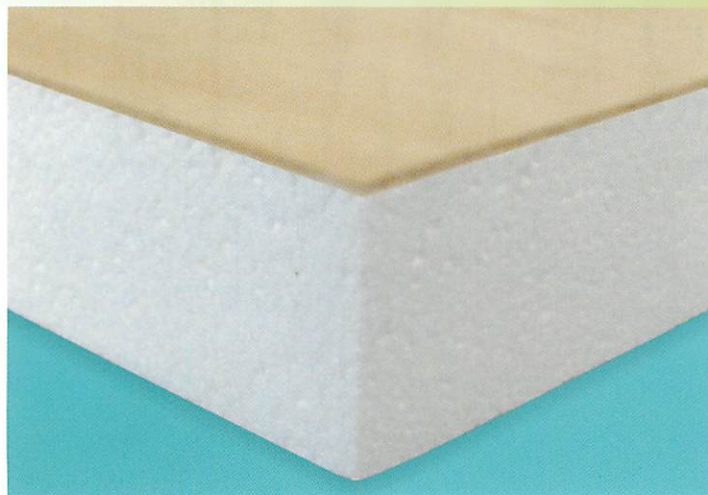
TSK

コンビパネル

多様な建築工法に合わせて開発された、
豊富なグレードの東北資材工業のパネル二次加工品。

JIS認定断熱材 A9511

直貼り用途



パネルV

各種市販ベニヤに対応できます。

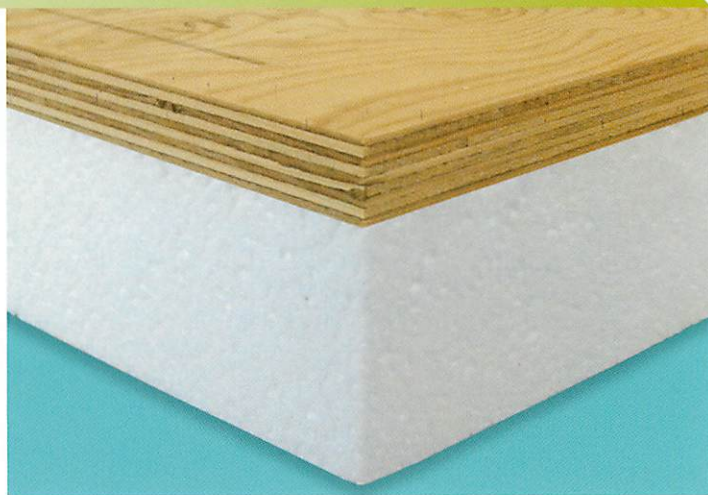
ベニヤの複合板。軽量で施工が容易なため、集合住宅の居室、押入れなど、内壁一般の幅広い用途に使用できます。

パネルPB

各種石膏ボードに対応できます。

石膏ボードの複合板。集合住宅の内壁はもちろん、その質感と厚みのある特長から、商業ビルなどへの使用に最適です。

打込み用途



コンパネ

型枠用合板を貼り合わせた型枠兼用断熱パネル。

合板

各種合板に対応できます。

不燃面材を表面材として一体化したパネル。

お客様の用途に合わせて、様々な加工が可能です。

コンビパネル施工方法



1. 打込工法

コンビパネルを打込み、パネルの表面材に直接仕上げをすることにより、工期の短縮、施工手間の節約がはかれる経済的な工法です。

施工順序	施工法および注意
① 内型枠建込	定規土台に合わせて内型枠を正確に建込む。
② コンビパネル仮止め	割付図により隙間なく頭なし釘で内型枠に仮止めする。
③ 内型枠とコンビパネル一体化	フォームタイと断熱用コーンを用いる。
④ セパレーター取付	断熱用コーンにセパレーターを取付ける。
⑤ 目地テープ張	コンビパネルの目地部分に粘着テープで目地張りする。
⑥ 配筋	
⑦ 外型枠建込	
⑧ コンクリート打設	
⑨ 型枠解体	型枠解体時にコンビパネルの表面材を傷つけぬよう注意する。
⑩ 仕上	表面材の種類により各種仕上を行う。

2. 直貼工法

コンクリート下地及び、モルタル壁面に接着剤を用いてコンビパネルを直貼りする工法です。

施工順序	施工法および注意
① 不陸の調整	型枠による大きな損傷、型枠パネルの段違い、PC板どうしの目違い、豆板やあばた面等張り工事に不適当な不陸があれば、はつりや左官工事で下地を平滑な状態にする。
② 下地の乾燥・清掃	下地は十分に乾燥させ、張り工事に不適当な油類や不純物微粉等による汚れは取り除く
③ 割り付け並びに裁断	割り付け図面に従ってパネルの裁断をする。
④ 背割り(スリット)加工	下地へのなじみをよくするために断熱材面に背割り
⑤ 接着剤の塗布	一液・無溶剤型変形シリコーン樹脂系接着剤は、専用クシ目ゴテで断熱材面に塗布する。又オープンタイムは取らない。(貼り合わせる直前に塗布する) 標準塗布量:500g/m ²
⑥ パネルの貼り付け	貼り付け後、パネル面に当て木をして中央部から端部へ、ハンマーでたたき込む。
⑦ 貼り付け後の養生	施工後24時間はパネルに外力を加えないよう養生する。



ISO9001

東北資材工業 株式会社

■ 建材事業部矢巾事業所 ■

〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢幅 6-145
TEL.019-697-2711 / FAX.019-697-2710
E-mail yahaba@tohoku-shizai.co.jp
URL <http://www.tsk-kenzai.com/>

■ 仙台出張所 ■

〒985-0001 宮城県塩釜市新浜町1-17-9
TEL.022-361-8820 / FAX.022-364-8407

■ 本 社 ■

〒028-3101 岩手県花巻市石鳥谷町好地第12地割28番地1
TEL.0198-46-2811 / FAX.0198-46-2812
URL <http://tohoku-shizai.ftw.jp/>